

編集後記

- ◆“道切り（みちきり）”という風習が以前は全国各地で行われていました。今では限られたところでは残されていませんが、千葉県にはこの風習を今でも行っている地域がかなり残っています。この道切りは道祖神、蛇、ムカデ等をかたどった藁細工や縄を村のまわりに飾り、悪霊や疫病神から村を守るバリアの役割を果たしています。市川市国府台では“辻切り（つじぎり）”と呼ばれ、毎年1月17日に行われる行事を保存会が公開しています。数年前に見学しましたが、保存会の皆さんが神社の境内で稲藁を使って2mほどの大蛇4体をくみ上げ、町の周囲四隅の木にくくりつけていました。疫病等からいかに自分たちを守るか、先人の苦勞がしのばれました。
- ◆古典的な考え方では災害を自然災害と人為災害に分類しますが、疫病・感染症は自然災害に含まれています。台風や地震・津波等と同じく、避けることのできない自然災害と考えるならば、「一人一人が自分の身の安全を守ること」、すなわち自助が災害対策の基本となり、3密を避けることは理にかなっています。ただ、新興感染症については、世界の片隅でひっそりと暮らしていたウイルスが人間による開発や環境破壊にともなって野生動物経由で広がっているという説が有力視されています。経済優先、市場まかせの開発行為に歯止めをかけなさいというウイルスからの警告ととらえたほうがよさそうです。
- ◆新型コロナウイルス感染症の拡大によって、本年3月に予定していた当センター主催の講演会を6月に延期しましたが、その延期した6月の講演会も中止とせざるをえなくなりました。講演会は開催できませんが、講師の鏡論先生には千葉県における医療介護・地域包括ケアのあるべき姿について論文を投稿していただく予定です。
- ◆本年9月5日には、自治労千葉県本部と共催で第12回千葉県地方自治研究集会を「自然災害と防災」をテーマに開催します。昨年、千葉県や東日本に多大な被害をもたらした台風・大雨災害を振り返り、高齢者や紹介者をはじめとする災害弱者にも焦点を当てながら企画していきたいと考えています。3密に配慮しながら、準備を進めていきます。

事務局長 佐藤 晴邦

自治研ちば 既刊案内



2020年2月
(vol.31)

- ・巻頭言 淑徳大学 コミュニティ政策学部学部長 教授 鏡 論
千葉県地方自治研究センター 設立10周年に寄せ
- ・ご挨拶 ——10年の感謝を込めて理事長 法政大学法学部教授 宮崎 伸光
- ・設立10年を振り返り、更なる飛躍をめざす ——記念講演会・レセプション開催
- ・一般社団法人 千葉県地方自治研究センターのあゆみ
- ・千葉県地方自治研究センター設立10周年記念講演会
「全世代型の社会保障」と幼児教育・保育無償化
奈良女子大学名誉教授 澤井 勝
- ・市長インタビュー 石井宏子 君津市長に聞く 君津市長 石井 宏子
聞き手 副理事長 高橋 秀雄
副理事長 椎名 衛
- ・台風被害特集
大洪水の世紀 ——令和元年台風15、19号及び10月25日の大雨に寄せて——
都市プランナー 前衆議院議員 若井 康彦
- ・台風被害特集 課題山積 台風・大雨に対する千葉県の対応
千葉県議会議員 網中 肇
- ・台風被害特集 台風災害と政府・千葉県による「人災」の実態について
～「棄民」された千葉県民の救済のために～ 参議院議員 小西 洋之
- ・市議会報告 農業の活性化とオリーブ栽培 佐倉市議会議員 高木 大輔
- ・シリーズ千葉の地域紹介 人と自然が共生する 魅力溢れるまち・君津
君津市 企画政策部 政策推進課
研究員 井原 慶一
- ・新聞の切り抜き記事から 編集部
- ・今期の入手資料 編集部
- ・一般社団法人 千葉県地方自治研究センターの概要（会員募集）
- ・編集後記 事務局長 佐藤 晴邦

バックナンバーの申し込みは当研究センターまで 1部800円

自治研ちば VOL.32

2020年6月17日発行
発行 一般社団法人
千葉県地方自治研究センター
〒260-0013 千葉市中央区中央4-13-10
千葉県教育会館新館6階
自治労千葉県本部内
TEL 043-225-0020
FAX 043-225-0021
編集 佐藤 晴邦
印刷 (株)メロウリンク企画
頒価 800円（送料別途）